

学習会で人権メッセージ発表

10月4日、町見公民館で令和7年度人権学習会が開催され、本校から参加した4名の児童が、人権メッセージを発表しました。今回は、この紙面で4人のメッセージを紹介します。



わたしは、いじめはぜったいによくないと思います。なぜなら、人の心を傷つけてしまうからです。例えば、外見を笑ったり、悪口を言ったり、うそをついてだましたりするのははいけないことです。お互いに、相手を大切に思う気持ちを持つことが大事だと思います。また、言いにくいことを伝えるときには、どうしても言わなければならないことと、言わなくてもよいことを区別して、相手の気持ちを傷つけないようにすることが大切だと思います。



ぼくは「ありがとう」という言葉が好きです。「ありがとう」という言葉は優しくて、相手をいじめる言葉じゃないからです。「ありがとう」と言われると、誰でも「いいことしたなあ」とうれしくなります。みんなが、毎日一回「ありがとう」と言われると、もっと楽しい毎日になると思います。これからは、ぼく自身が「ありがとう」という言葉を毎日使えるように頑張ります。みんなが、お互いに「ありがとう」を言い合える世界になるように。



私は、どんな理由があっても、いじめは絶対にしてはいけないことだと思います。なぜなら、いじめられた人は、とても心が傷ついてしまい、その傷がなかなか治らないこともあるからです。私も人からいじられて、とてもつらい思いをしたことがあるので、よけいにそう感じます。もし、あなたがいじめにあってしまったときは、先生に知らせたり、おうちの人に相談したりしてください。また、いじめを見かけたときには、すぐに学校の先生に伝えましょう。そして、みんなで、いじめを許さない社会を作っていきましょう。



ぼくは、深く考えないで友達が悪口を言ったり、からかったりして、友達をいやな気持ちにさせていました。でも、それがいじめになると知り、いじめは絶対にしてはいけなかったと思います。

新聞で、いじめをきっかけに自殺をした人がたくさんいることを知り、とても驚きました。自分がしていたことも、自殺につながるかもしれないと思うと、こわくなりました。先生からも、何度も注意されて、ぼくは反省しました。そして、考え方が変わり、いじめをしないように気を付けようと思うようになりました。前まではいじめる側だったけれど、これからは、もし友達がいじめられていたら、それを止める側になります。